

**製品名: CD203c ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08273**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	100kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ENPP3 ENPP3; PDNP3; Ectonucleotide pyrophosphatase/phosphodiesterase family member 3; E-
別名	NPP 3; Phosphodiesterase I beta; PD-Ibeta; Phosphodiesterase I/nucleotide pyrophosphatase 3; CD203c
遺伝子 ID	5169.0
SwissProt ID	O14638
免疫原	抗血清はヒト ENPP3 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 281-330

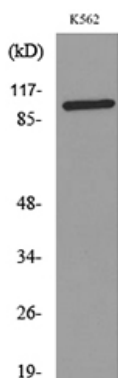
## 背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞外ヌクレオチドの加水分解に関与する一連の細胞外酵素に属します。これらの細胞外酵素はATPase 活性およびATP ピロホスファターゼ活性を有し、II型膜貫通タンパク質です。ラットの mRNA は、未熟なグリリア細胞の一部と消化管で発現が確認されています。対応するラットタンパク質は、膵臓、小腸、結腸、肝臓で検出されています。ヒトの mRNA は、神経膠腫細胞、前立腺、子宮で発現しています。ヒトタンパク質は、子宮、好塩基球、肥満細胞で発現が確認されています。この遺伝子には、タンパク質をコードするものとタンパク質をコードしないものの2つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2015年10月],触媒活性:ジヌクレオチド + H(2)O = 2つのモノヌクレオチド。触媒活性:3'-ヒドロキシ末端オリゴヌクレオチドの3'-ヒドロキシ末端から5'-ヌクレオチドを連続的に加水分解的に除去します。補因子:サブユニットあたり2つの二価金属カチオンに結合します。酵素調節:ATP 濃度が低い場合、リン酸化活性部位中間体が形成され、それ以上のATP 加水分解が阻害されます。機能:デオキシヌクレオチド、ヌクレオチド糖、NAD などのさまざまなホスホジエステルおよびホスホ硫酸結合を切断します。誘導:アレルゲンによる刺激またはIgE との架橋によって上方制御されます。IgE を介した活性化は、PKC 経路の刺激因子であるテトラデカノイルホルボールアセテート (TPA) によって促進され、P13 キナーゼ阻害剤である LY294002 およびワートマンニンによって阻害されます。浸潤性胆管がんにおいてアップレギュレーションされます。PTM: 活性 SMB ドメインには、かなりのジスルフィド結合の不均一性または変動性が許容される可能性があることが示唆されているため、3D 構造に基づく2つの代替ジスルフィドパターンが、両方で1つのジスルフィド結合が保存されていると記述されています。PTM: N-グリコシル化は、頂端面への正しい輸送に必要ですが、頂端面への標的化シグナルではありません。類似性:ヌクレオチドピロホスファターゼ/ホスホジエステラーゼファミリーに属します。類似性:2つのSMB (ソマトメジン B) ドメインを含みます。細胞内局在:腸管および腎臓上皮細胞の頂端面に位置します。好塩基球の細胞表面および胆管細胞の頂端側細胞膜に局在する。血清および上皮細胞の管腔内に分泌される。組織特異性:胆管、前立腺、子宮、結腸に発現する。好塩基球、肥満細胞、およびそれらの前駆細胞にのみ発現する。

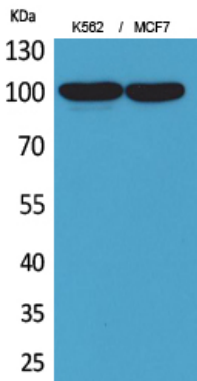
## 研究分野

プリン代謝、デンプンおよびスクロース代謝、リボフラビン代謝、ニコチン酸およびニコチンアミド代謝、パントテン酸および CoA 生合成。

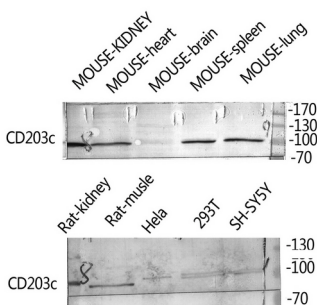
## 画像データ



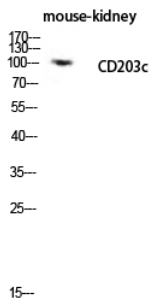
ENPP3 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウエスタン ブロット分析。



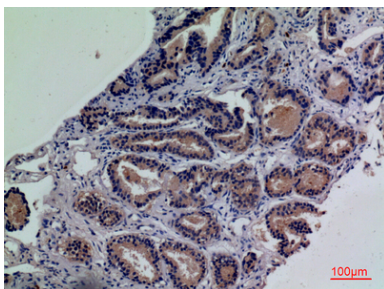
CD203c ポリクローナル抗体を用いた K562, MCF7 細胞のウェスタンブロット解析。抗体は 1:2000 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



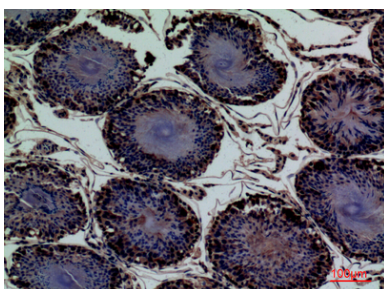
ENPP3 ポリクローナル抗体を用いたラット腎臓ヘラ 293T SH-SY5Y マウス腎臓マウス脾臓マウス肺のウェスタンブロット解析。抗体は 1:2000 に希釈。二次抗体は 1:20000 に希釈。



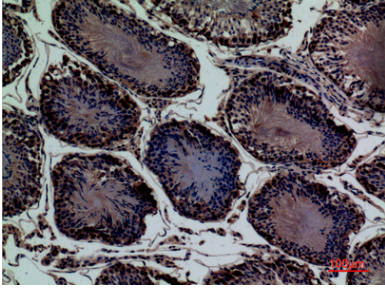
CD203c 抗体を用いたマウス腎臓溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:2000 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



パラフィン包埋ヒト前立腺癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ラット精巣の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ラット精巣の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された